

昭和40年度 和歌山県文化賞

こ まき こうじろう
小 槇 孝二郎

住 所：和歌山県有田郡金屋町

出 身 地：岡山県津山市

生 年：明治36年

■職業

教育委員長

◎業績及び経歴

大正11年岡山県師範学校を卒業、有田郡鳥屋城、田栖川、御霊各小学校教諭、耐久、御霊各中校長を歴任、現在金屋町鳥屋城公民館長、同町教育委員長、日本流星委員会委員長、東亜天文学会流星部長として活躍している。

昭和18年紀伊天文同好会を組織し和文と英文の観測報告をだし、東京天文台をはじめ国内の流星観測を実施しているものやアメリカ、ソ連、ドイツ、フランスなど国外の研究機関にも発送し、資料の交換を行なっている。

このほか人工衛星の観測にも貢献し昭和32年国際地球観測年開始の年より金屋班観測班長として東京天文台、アメリカのスミソニヤン天体物理観測所と連絡のもとに観測を実施中である。

著書には「流星の研究」「流星とその観測」のほか「新天文学講座第二巻」「天体の軌道計算」のそれぞれに東大教授、東京天文台長等と分担執筆している。

以上の業績に照らしても明らかなように氏は学校卒業以来今日まで40余年一貫して天文研究に取り組み、今や流星研究の第一人者たるのみならず流星観測について日本唯一の観測実践による資料の提供者として至宝の存在である。